

熊本県立装飾古墳館



熊本県立装飾古墳館は「装飾古墳」の専門館です。国が提唱した「風土記の丘構想」に基づき、装飾古墳の保護・活用、そして研究のための施設として設置されました。

当館は、建築家安藤忠雄氏の作品です。前方後円墳の形を模しており、敷地内の岩原古墳群にある熊本県最大級の前方後円墳「岩原双子塚古墳」と点対称で向いあうように建てられています。

館内には普段見ることのできない装飾古墳の内部を忠実に再現し展示しています。このほか、先土器時代（旧石器時代）から中世までの出土遺物も展示しています。屋外には「はにわ公園」、古墳の間をウォーキングして楽しめる園路、台地の壁面には岩原横穴墓群があります。

また、勾玉づくりをはじめとする古代体験や、学芸員が出向いて行う移動体験など、講座やイベントが楽しめる体験参加型の博物館でもあります。

古墳に囲まれた当館で、古代のロマンを感じていただくと幸いです。

以下はコロナ禍前の DATA 及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住所：熊本県山鹿市鹿央町岩原3085番地
- TEL：0968-36-2151
- ホームページ：soushokukofun@pref.kumamoto.lg.jp
- 観覧料：修学旅行の場合 無料

- 開館時間：9時30分～17時15分（入館は16時45分まで）
- 休館日：月曜、年末年始
※ただし、月曜が祝日の場合は開館、翌日が休館
- 駐車場：100台（無料）
- 交通：菊水I.C.より山鹿方面へ車で約15分
植木I.C.より山鹿方面へ約15分

【装飾古墳とは？】

装飾古墳とは、石棺や石室あるいは横穴墓の内・外面に、彫刻や線刻、彩色により文様や絵画などの装飾を施したものです。装飾古墳は4世紀末頃から7世紀頃まで造られており、全国に約700基、熊本県内には約200基があり全国一の数です。

●装飾古墳室

県内の主要な装飾古墳の精密な実物大レプリカを作り、出土品とともに展示しています。本館の中心的な展示スペースです。装飾古墳は保存のため閉鎖されている場合が多いですが、当館では13基の装飾古墳を比較しながら見ることができます。



●岩原古墳群

隣接地には、熊本最大級の前方後円墳である岩原双子塚古墳と、それを囲むように大小の円墳群や横穴群があります。

【岩原双子塚古墳】

丘の長さが107m、後円部直径57m、高さ9mの前方後円墳で、日本有数の姿形をもつ国指定の史跡です。



●団体向けコース

滞在時間に合わせて組みあわせることができます。

館内見学（30分～）

屋外見学（30分コース、90分コース）

映画鑑賞（20分～50分）

古代勾玉づくり（90分）

古代火おこし（60分）

古代ベンガラづくり（90分）

古代体験



宮崎県立美術館



1995年(平成7年)10月開館し、当初からのコンセプトである「県民に親しまれる開かれた美術館」を目指して様々な事業を展開しています。

瑛九をはじめとする郷土作家の作品や、ピカソやマグリット、ルオーなど海外作家の優れた作品を収蔵しており、それらを紹介するコレクション展はもちろん、特別展、各種教室や実技講座など年間を通して実施しています。

以下はコロナ禍前のDATA及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住 所： 宮崎県宮崎市船塚3丁目210
- T E L： 0985-20-3792
- ホームページ： <http://www.miyazaki-archive.jp/bijutsu/>
- 観 覧 料： コレクション展は無料、特別展はそのつど定めます。
- 開 館 時 間： 10時00分～18時00分（入館は17時30分まで）
- 休 館 日： 毎週月曜日、国民の祝日の翌日、年末年始、メンテナンス休館日等
- 駐 車 場： 宮崎県総合文化公園駐車場 530台（無料）
- 交 通
 - ◆ JR宮崎駅から
 - ・「西1番のりば」発の宮崎交通バス4分、「山形屋前」で下車し、「ホテルルートイン宮崎橋通」（交番近く）で「文化公園」「古賀総合病院」「国富」「綾」「酒泉の杜」行等に乗換え9分、「文化公園」または「文化公園前」下車すぐ
 - ・「西2番のりば」発の宮崎交通バス（「古賀総合病院」「綾」「酒泉の杜」行）14分、「文化公園前」下車すぐ
 - ・タクシーで約15分

◆ JR宮崎神宮駅から

- ・タクシーで約5分、徒歩で約20分

◆ 宮崎空港から

- ・「1番のりば」発の宮崎交通バス11分、「宮交シティ」で下車し、「3番のりば」で「古賀総合病院」「国富」「綾」「酒泉の杜」行等に乗換え20分、「文化公園前」下車すぐ
- ・「JR宮崎空港駅」発の列車10分程度、「宮崎」で下車し、JR宮崎駅からの案内と同様
- ・タクシーで約30分

◆ 宮崎西ICから車で約15分、宮崎ICから車で約20分

● コレクション展示[1階]

「宮崎県出身の作家の作品や、本県にゆかりのある作家の作品」「日本の美術の流れを知るために、ふさわしい作品」「海外のすぐれた作品」を収集方針として現在4,200点を超える作品を収蔵しています。その作品を、作家や時代、表現様式で様々なテーマを設定し、年間4回の展示替えを実施して紹介しています。



● 美術図書室[1階]

美術関係図書約4,600冊を備え、明るい雰囲気の中で自由に閲覧していただけます。サービスカウンターでは、図書をはじめ、美術に関する様々な質問や相談にお答えします。



● アートシアター

土曜日、日曜日、祝祭日に、美術館のオリジナル番組を放映しています。また特別展関連番組の放映や、県民の映像作品や表現活動の発表の場としての利用も行っています。

● 企画展示室[2階]

年間3~4回の特別展を開催。巡回展や企画展などを開催しています。

● 県民ギャラリー[2階]

美術作品の発表と鑑賞の場として広く県民の皆様に利用いただいています。



● 学芸員や美術館サポーターによる対応

随時、要望に応じて、コレクション展の見所や作品の味わい方について、クイズを解きながら、楽しく鑑賞できるプログラムや、館内をめぐりながら、美術館について学べるツアーも実施しています。(事前のご連絡と打合せが必要です。)

● 学習のポイント

日本の前衛美術の先駆者と言われ、自由で独創的な制作をつづけた瑛九の作品を核として、国内外の作品を体系的に収集しており、ピカソやマグリットなどの世界の巨匠たちの作品

にも出会えます。それらを年 4 回の展示替えをとおして紹介するコレクション展では、特に海外の作品では、シュルレアリスムの作品とイタリア彫刻が充実しており、これらをゆったりとした空間の中で鑑賞することができます。

また、本館では学芸員による展示解説も計画的に行っておりますので、事前にお問い合わせください。

● **施設の周辺情報**

〈宮崎神宮〉 徒歩で10分

〈宮崎科学技術館〉 車で15分

〈青島〉 車で40分

宮崎県立西都原考古博物館



特別史跡西都原古墳群は、宮崎県の中央、西都市街地の西に位置する古墳群です。南北4.2km・東西2.6kmにわたる台地上に、陵墓参考地の巨大古墳「男狭穂塚」・「女狭穂塚」をはじめとした319基の古墳が分布しています。

宮崎県立西都原考古博物館は、考古学専門のフィールドミュージアムとして、西都原古墳群の一角に2004（平成16）年4月に開館しました。

南九州の人々の生きた証を見つめる「人と歴史の博物館」、考古学の思想に基づき、ストーリーに沿った謎解きを展開する「考古博物館」と、様々な情報を検証する「考古学研究所」で構成。常新をテーマに常に新しい情報を展示しています。

以下はコロナ禍前のDATA及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住 所： 宮崎県西都市大字三宅字西都原西 5670 番
- T E L： 0983-41-0041
- ホームページ： <http://saito-muse.pref.miyazaki.jp>
- 開館時間： 9時30分～17時30分（展示室入室は17時00分まで）
- 休館日： 月曜日（国民の祝日と重なるときは翌平日）、国民の祝日の翌日（土曜日）日曜日または休日にあたる時を除く）、12/28～1/4
- 入場料： 無料
- 駐車場： 無料
- 交通： 車：宮崎市内より国道219号線経由約40分、東九州自動車道西都ICから約10分

バス：宮交シティより「西都原考古博物館前」行きもしくは、「西都」行き
乗車約 70分 「西都バスセンター」経由「西都原考古博物館前」で
下車（「西都バスセンター」からタクシーで約 10分）

●展示室（地下1階）

展示室は常に更新されていく「考古博物館」エリアと、蓄積された情報を検索できる「考古学研究所」エリアがあります。考古博物館は「南九州の自然と人々の営み」「古墳時代前史」「前方後円墳の世界」「地下式横穴墓の世界」「古墳の終焉から律令期へ」「考古学の世界」の六つのテーマで構成されています。考古学研究所は博物館の中の仮想的「研究所」として、考古学の基礎的調査の方法や研究の過程を、多くの人々が追体験・再検証できる場となっています。



●館内施設

総合案内、ホール（300名）、セミナー室（70名）、ミュージアムショップ、図書室・
閲覧室、情報利用コーナー、喫茶ラウンジ、多目的トイレ、救護室

●古代生活体験館

古代生活体験館は、様々な体験プログラムをとおし
て、自然との共存、古代人の知恵と工夫、道具の利
用能力などを学び、文化財愛護の精神と生きる力を
身につけることを目指しています。

古代人の暮らしを体験学習する土器づくり、まが
玉づくり、竹笛づくり、火起こし、蜻蛉玉づくり
などの体験講座を準備しています。

（令和3年1月現在、体験メニューを一部制限し
ています。）



●学習のポイント

展示室（地下1階）では、本物の遺物に直接 触れることのできる展示があります。

石器、土器に触れることで古代人の知恵と工夫に迫ることができます。

さらに、隣接する古代生活体験館において、土器や石器、勾玉などをつくる体験をすること
によって、より理解を深めることができます。

団体（学校等）で申し込まれる場合は、博物館の見学、体験館での体験活動の計画について
は、予約の際に、受付スタッフにご相談ください。（予約は原則、ご利用の1か月前まで）

- ・ボランティアによる展示解説（事前要申込み。）
- ・古代生活体験館（事前予約なしで、いつでも体験可。）

●施設の周辺情報

〈西都原古墳群〉 西都原ガイダンスセンター このはな館 車で5分

〈宮崎市フェニックス自然動物園〉 車で30分

〈綾町・照葉大吊橋〉 車で60分

宮崎県総合博物館



1951（昭和 26）年に開館した宮崎県総合博物館は、1998（平成 10）年に体験型施設としてリニューアルを行いました。また、本館東側の民家園では、かやぶきの屋根の古い民家を公開展示しています。宮崎県の自然と歴史・民俗を一度に体感できる唯一の博物館です。

以下はコロナ禍前の DATA 及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住 所： 宮崎県宮崎市神宮 2 丁目 4-4
- T E L： 0985-24-2071
- ホームページ： <http://www.miyazaki-archive.jp/museum/>
- 観 覧 料： 常設展は無料、特別展は内容によって有料
- 開 館 時 間： 9 時 00 分～17 時 00 分（入館は 16 時 30 分まで）
- 休 館 日： 毎週火曜日、国民の祝日の翌日、年末年始、特別整理・燻蒸期間等
- 駐 車 場： 第 1・2 駐車場 150 台（無料）
- 交 通： 車：宮崎西 IC から車で約 15 分、宮崎 IC から約 20 分
バス：「宮交シティ」で下車。「3 番のりば」で番線 300 番代のバス（「古賀総合病院」「綾・国富方面」行き等）に乗り換え 21 分、「博物館前」下車して徒歩 3 分。



● **常設展示室（自然史）[1階]**

宮崎の自然をテーマにした1階の常設展示室では、「宮崎の森」を再現しています。照葉樹林ジオラマには県内で見られる様々な動植物を配置し、さらに、「宮崎の大地」には、県内から産出した化石や岩石の展示があり、宮崎の自然をまるごと理解できます。



● **みんなの情報室 [1階]**

自然史や歴史に関する書籍、植物標本や岩石標本、民俗資料、ビデオ等の視聴覚資料があり、自由に見たり触ったりできます。宮崎県内外の自然史・歴史の情報を提供しています。

● **常設展示室（歴史・民俗）[2階]**

宮崎の旧石器時代から現代に至るまでの歴史について資料を展示する歴史展示室、国指定重要有形民俗文化財2260点のうち半数以上の民俗資料を展示する民俗展示室があり、宮崎の歴史を知り、人々の生活を体感できます。



● **特別展示室[2階]**

年間3~4回の特別展を開催。巡回展や企画展などを開催しています。

● **民家園**

約150年から200年前に建てられた地方独特の建築様式をもった国指定重要文化財2棟、県指定有形文化財2棟の計4棟の民家を移築復元し、公開しています。



● **展示解説員による対応**

展示解説員が常駐し、展示室の資料について団体等への詳しい解説を行っています。また、週末には「紙芝居」や「むかしのあそび」、「クイズラリー」などの様々な催しを週毎に行っています。

● **学習のポイント**

1階の自然史展示室には、宮崎の自然を特徴づける照葉樹林を表現したジオラマや標本、恐竜の全身骨格などを展示しています。2階の歴史・民俗展示室には、触れる資料や模型、映像、検索機器を使って体感できる展示のほか、昭和30年代文化住宅、国指定重要有形民俗文化財の民具などを展示しています。

体験装置やシアターなどもあり、宮崎の自然や歴史、昔の人々の暮らしについて楽しく学習することができます。

本館に隣接する民家園には、江戸時代の民家4棟を移築復元しており、生活用具の展示とあわせて古い民家の雰囲気を感じ取れるようになっています。

*本館では展示解説員による展示解説も行っております。事前にお問い合わせください。

● **施設の周辺情報**

〈宮崎神宮〉 徒歩で10分

〈宮崎科学技術館〉 車で15分

〈青島〉 車で40分

鹿児島県歴史・美術センター黎明館



薩摩藩主島津家の居館，鹿児島（鶴丸）城跡に建つ人文系博物館。敷地をめぐる濠の石垣には，西南戦争で激戦が行われた時の弾痕が残ります。

鹿児島県歴史・美術センター黎明館は，歴史，考古，民俗，美術・工芸に関する18万点を超える貴重な資料を所蔵しており，鹿児島の歴史と文化を総合的に学ぶことができます。

2019年7月には常設展示がリニューアルオープン。2階の明治維新コーナーでは，薩摩藩や郷土の人々が明治維新で果たした役割などを，「薩摩藩の砲兵」や「関吉の疎水溝」などのジオラマを用いて分かりやすく展示しています。

以下はコロナ禍前のDATA及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住所：鹿児島県鹿児島市城山町7番2号
- 連絡先：電話 099-222-5100 FAX 099-222-5143
- ホームページ：<https://www.pref.kagoshima.jp/reimeikan/>
- 開館時間：9時00分～18時00分（入館は17時30分）
- 休館日：月曜日（祝日の場合はその翌日），毎月25日（土日祝日の場合は開館），12月31日～1月2日
- 駐車場：普通車125台，バス20台
- 交通：車／九州自動車道「鹿児島IC」より約20分，「鹿児島空港」より約60分
電車／JR「鹿児島中央駅」・「鹿児島駅」より市電・バスを利用，「市役所前」または「水族館口」下車，徒歩7分
バス／鹿児島市内巡回観光バス「薩摩義士碑前」下車すぐ

●常設展示

1F テーマ展示

先史・古代から近・現代まで、時代を追って鹿児島県の歴史の流れを概観できます。



2～3F 部門別展示（歴史、民俗、美術・工芸）

分野ごとに特色ある鹿児島県の歴史や文化を紹介しています。



3F 体験学習室

昔の玩具や生活道具などを手に触れながら体験的な学習ができます。

●鶴丸城御楼門

鹿児島（鶴丸）城は、慶長6（1601）年頃、のちに初代藩主となる島津家第18代当主・家久が建設に着手した島津氏の居城です。

その居館（本丸）の正面中央にあった城のシンボルである「御楼門」は明治6（1873）年の火災で焼失しましたが、令和2（2020）年3月に復元されました。



●その他の施設

屋外展示（古民家「樋の間二つ家」、茶室）、天璋院篤姫像、新橋橋柱、聚珍寶庫碑など、レストラン、カフェ&ショップ、講堂、講座室、多目的トイレ、救護室、授乳室

●学習のポイント

常設展示では、歴史、考古、民俗、美術・工芸分野の豊富な実物資料や精巧なジオラマ、映像等を見ながら、鹿児島県の歴史や文化を幅広く学ぶことができるとともに、屋外では、薩英戦争・西南戦争の二度の近代戦を実際に経験した鹿児島城で、歴史を体感しながら学ぶことができます。展示に関する専門の知識をもった展示解説員が常駐しており、展示の案内や体験学習のお手伝いも行います。

鹿児島城跡地に建つ黎明館の周辺には美術館や博物館が隣接し、周辺の史跡なども併せて、班別の自主研修活動を実施する際の起点・終点としても活用しやすい場所です。

鹿児島県立博物館



鹿児島県立博物館は、鹿児島のシンボルである桜島の大正大噴火の記録を残すことを目的に造られました。もともと図書館だった建物を再利用して造られた博物館であり、本館は国の登録有形文化財となっています。現在は桜島だけでなく、鹿児島の豊かな自然を未来へ残し、人々に自然にもっと親しんでもらうために活動しています。

以下はコロナ禍前の DATA 及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住 所： 〒892-0853 鹿児島市城山町1番1号
- 連絡先： TEL：099-223-6050 FAX：099-223-6080
E-mail：kahaku1@pref.kagoshima.lg.jp
- ホームページ： <https://www.pref.kagoshima.jp/hakubutsukan>
- 開館時間： 9:00～17:00（入館は 16:30 まで）
- 休 館 日： 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）、毎月 25 日ごろ
12 月 29 日～1 月 1 日 ※詳しくはホームページをご覧ください。
- 入 館 料： 無料（ただし、プラネタリウムは有料）
- 駐 車 場： なし（ただし、身障者用駐車場 2 台分あり）
- 交 通： ・鹿児島空港からリムジンバス利用のときは、金生町か天文館バス停で下車
徒歩約 7 分
・鹿児島中央駅からバス（電車）を利用する場合は天文館（天文館通）で下車
徒歩約 7 分

- 企画展示室（1階）
3ヶ月ごとにテーマを変え、鹿児島を中心とした自然に関するタイムリーな話題や調査研究の成果などについて展示を行っています。



- 自然総合展示室A（2階）
「鹿児島の自然」をテーマに、豊かな鹿児島の自然をジオラマで再現。黒潮によって、鹿児島の自然を南から北へ海から山にたどることで、自然のすばらしさを発見できます。



- ディスカバリールーム（2階）
剥製等に触れたり、比べたり、また特有の音などを聞いたり、五感を使って、自然に慣れ親しみながら、その特徴を発見することができます。



- 自然総合展示室B（3階）
「鹿児島の人々と自然のつきあい方」をテーマに、鹿児島県の生物多様性や地形の成り立ちを感じることができます。



- 恐竜化石展示室（別館宝山ホール4階）
鹿児島県内産の貝や植物化石のほか、北米ユタ州産の恐竜化石、南・北米産化石を展示しています。



- 天文展示室（別館宝山ホール4階）
プラネタリウムでは、季節ごとの番組を制作して投影しています。また、展示室ではデジタル四次元地球儀等を展示しています。

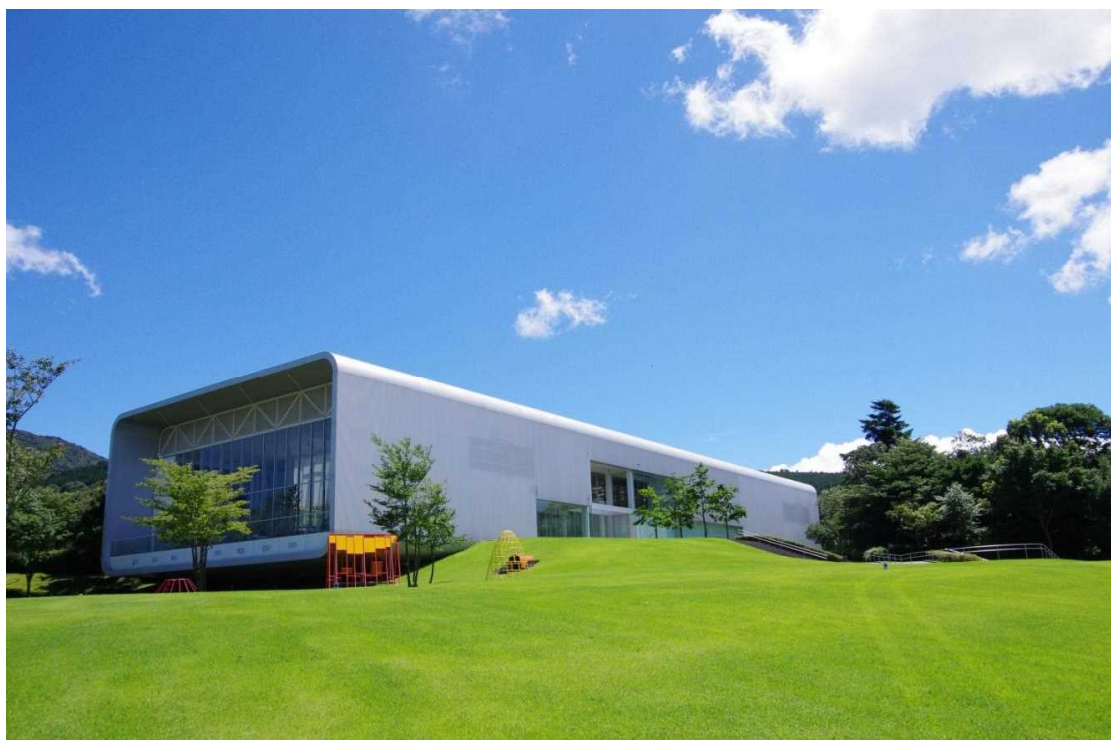


- その他の施設
旧考古資料館（平成 14 年閉館，外観のみ見学可）と県指定天然記念物「世界ではじめて精子が発見されたソテツ」があります。



- 学習のポイント
本館の展示物の見学のほか、別館（宝山ホール4階）でのプラネタリウム番組視聴、さらに、毎週土・日に行われる「楽しい実験」や第2・4日曜日の天文教室、年間 35 回行われる科学教室などの教育普及活動があります。また、直接手を触れることができる展示や機器を操作できる展示も一部あります。
科学教室は事前に予約が必要です。予約の仕方等はホームページをご覧ください。

鹿児島県霧島アートの森



五感で楽しむ自然豊かな現代美術館。鹿児島県霧島アートの森は、霧島連山の西に位置する自然に囲まれた野外美術館です。自然の中で現代アートに触れてみてください。

アートホールでは、特別企画展、コレクション展、アトラボ事業などを開催しております。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、当園HPに、「学校等の団体利用ならびに団体用プログラムについて」を掲載しております。どうぞ御確認ください。

県外から学校の修学旅行でお越しの際は、入園料が免除となります。詳しくは鹿児島県のHP (<https://www.pref.kagoshima.jp/af08/kyoikuryoko/syugakuryokougugenmen.html>) を御覧ください。

以下はコロナ禍前の DATA 及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住所：鹿児島県始良郡湧水町木場 6340-220
- 電話番号：0995-74-5945
- ホームページ：<https://www.open-air-museum.org>
- 開館時間：9時00分～17時00分（入園は16時30分まで）
- 休園日：月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）、年末年始（12月29日～1月2日）
- 駐車場：200台
- 交通：車／九州自動車道「栗野IC」より約20分、「鹿児島空港」より約40分
電車／JR「鹿児島中央駅」より日豊本線「隼人駅」のりかえ、肥薩線「栗野駅」下車、町営ふるさとバスで約20分

バス／「栗野駅」または「いきいきセンターくりの郷」より、町営ふるさとバスで約
20分～40分

●野外常設展

人間と自然をテーマに国内外の芸術家が制作した 23 点の野外彫刻作品が通年観覧できます。



●アートホール

年間 4 回程度のコレクション展、年 2 回の特別企画展、年 2 回のアートラボ事業を開催しています。（令和 2 年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、展覧会の開催スケジュール等が変更になっています。当園 HP で御確認ください。）



●その他施設

カフェ、ミニライブラリー、多目的スペース、創造の森美術室、多目的トイレ、救護室

●教育普及活動

教育普及活動では、団体向けのプログラムを各種用意しています。人数や滞在時間に合わせて、ご参加いただけます。また、雨天時のみの利用も歓迎します。

[プログラム例]

- ・ギャラリートーク
- ・探検スケッチ
- ・ミッションチャレンジ
- ・野外作品フォトラリー
- ・みんなのアート工房（有料）

●学習のポイント

野外常設展や屋内のコレクション展などの作品を鑑賞したり、団体向けのプログラムに取り組んだりすることによって、現代美術に対する興味・関心を高めることができるとともに、今を生きる私たち自身や社会を見つめ直し、様々な発見をする機会が得られることとなるでしょう。

みやまコンセール (霧島国際音楽ホール)

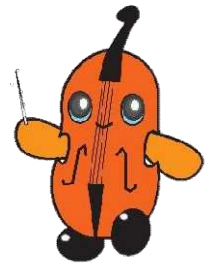


世界と未来にひらく緑の中の音楽堂

森の生命に包まれた「みやまコンセール」には不思議な力が満ちていて、音楽を愛するすべての人々に素敵な夢を与えてくれます。ここに広がる感動のさざ波は、緑と光といのちのかがやきに包まれたこの音楽堂を飛び出して、世界へ、そして未来へ…。

鹿児島県内唯一の音楽専門ホール。中でも主ホールは、世界音響学会から「奇跡のホール」と讃えられた世界でも屈指の音響。

みやまコンセールが提案する音楽プログラムを、ぜひご利用ください。
また、合唱や吹奏楽等の練習会場としてもご利用いただけますので、お問い合わせください。



以下はコロナ禍前の DATA 及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住 所：鹿児島県霧島市牧園町高千穂 3311-29
- 電話 番号：0995-78-8000
- ホームページ：https://miyama-conseru.or.jp
- 開館 時間：9時00分～16時30分

●休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌平日)，年末年始(12月28日～1月4日)

●駐車場：約500台

●アクセス：車 / 九州自動車道「鹿児島空港IC」または「横川IC」より25分

バス / 鹿児島中央駅 ⇐ 空港連絡バス ⇒ 鹿児島空港 ⇐ 路線バス(霧島いわさきホテル行き) ⇒
「牧場」又は「柳平」で下車、徒歩約10分

JR / 日豊本線「霧島神宮駅」下車 ⇐ 路線バス(霧島いわさきホテル行き) ⇒ 「丸尾」で下車、
タクシーで約7～8分

肥薩線「霧島温泉駅」下車 ⇐ 路線バス(霧島いわさきホテル行き) ⇒ 「牧場」又は
「柳平」で下車。

●当ホールの主ホール(770席)では、霧島国際音楽祭のほかに年間50回程度の自主公演を開催しています。



三浦一馬・村治奏一
バンドネオン・ギターデュオ



シンフォニーの丘コンサート



野外音楽フェス
～みやまの森の響～

●小ホール(約200人収容)，リハーサル室(約40人収容)，練習室(8室)，野外音楽堂(約4,000人収容)は、合唱や吹奏楽・バンド等の練習会場としてご利用いただけます。



小ホール



練習室



野外音楽堂

みやまコンセールプロデュース

【ミニ・コンサートのご案内】

ミニ・コンサートは、県内外で活躍する「みやまコンセール協力演奏家」が、主ホールの素晴らしい音響とともに約1時間のステージをお届けするもの。クラシック音楽から馴染みのポピュラー音楽まで、幅広いジャンルをお楽しみいただけます。修学旅行や体験学習，研修旅行などのプログラムに、**奇跡のホール**で音楽に親しむひとときを取り入れてみませんか。学校団

体（20名以上）、生涯学習グループなどの一般団体（30名以上）でお申し込みいただけます。＊詳しくは公式ホームページをご覧ください。

管・弦・打楽器・和楽器の独奏や、独唱、アンサンブルなどをお楽しみいただけます。
また、16世紀～19世紀に使われていたチェンバロ、フォルテピアノの鍵盤楽器の演奏を通して、ピアノの歴史と変遷を学ぶことができます。



時 間：1時間

可能人数：30人～770人

料 金：500円 / 人

申込方法：希望日の前月1日(必着・休館日の場合は翌日)までにお申し込みください。

上野原縄文の森



上野原縄文の森は、9500年前の縄文時代の竪穴住居などが発見された上野原遺跡を保存・活用するために作られた施設です。国内最古・最大級の集落跡として国指定史跡になり、日本の歴史公園100選にも選ばれています。

以下はコロナ禍前のDATA及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住所：鹿児島県霧島市国分上野原縄文の森1番1号
- TEL：0995-48-5701
- ホームページ： <https://www.jomon-no-mori.jp/>
- 開園時間：展示館 9時00分～17時00分
(入館は16時30分まで)
体験学習館 9時00分～16時30分
(受付は16時00分まで)
- 休園日：毎月曜日(休日に当たるときは、その翌日)
(ただし、4月29日～5月5日、8月13日～8月15日は無休)
12月30日～1月1日(年末年始) 2月中旬(臨時休園)
- 駐車場：無料(約450台)大型バス可
- 交通：東九州自動車道国分ICから車で約15分 鹿児島空港から車で約40分



- 展示概要：①常設展示室では、9500年前の土器の展示や当時の縄文人達が暮らしたムラの風景をジオラマで紹介しています。また、国の重要文化財に指定された7500年前の出土品の展示を行っています。



- ②遺跡保存館では、発見された集落跡の一部を発見当時のままの姿で保存、展示しています。



- ③地層観察館では、地下にもぐりこんで、上野原台地の生きた地層を観察できます。



- ④復元集落では、竪穴住居、集石遺構、連穴土抗など約9500年まえのムラを復元し、当時の暮らしがうかがえます。



- 縄文シアター：縄文時代の人々の生活の様子をアニメーションで紹介します。縄文時代の暮らしや命の大切さについて学べます。（約20分間）



- 体験学習館：体験学習館では、火おこしやアクセサリー作り、弓矢縄文作りなど昔の人々のくらしを体験できます。



- その他施設：2階には休憩所・自動販売機コーナー、3階には上野原縄文の森を見渡すことのできる展望所があります。
- 学習のポイント：縄文時代に使われていた土器などの貴重な出土品を見ることができます。また、縄文時代の人々の生活について映像や展示物で紹介しているので、調べ学習に最適です。

鹿児島県奄美パーク



奄美の美しい自然や多様な文化、歴史をビジュアルで紹介するとともに、人々の交流の場となる「奄美の郷」と、奄美の自然を描き続けた日本画家、田中一村の作品を紹介する「田中一村記念美術館」の二つの施設を中核としています。

以下はコロナ禍前のDATA及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住 所： 鹿児島県奄美市笠利町節田1834
- T E L： 0997-55-2333
- ホームページ： <http://www.amamipark.com/>
- 開園時間： 9時00分～18時00分（7・8月は9時00分～19時00分）
※入館は閉館時間の30分前まで
- 休 館 日： 毎月第1・第3水曜日（祝日の場合は翌日）
※ ただし、4月29日～5月5日、7月21日～8月31日、
12月30日～1月3日は開園
- 駐 車 場： 大型バス（7台）一般駐車場（240台）
※ いずれも駐車料無料
- 交 通： 奄美空港から車で約5分

1 奄美の郷

●総合展示ホール

集落の空間的な広がりを表現した総合展示ホールでは、豊かな自然と深くかかわってきた人々の暮らしぶりを、テーマ毎に「海の道」「シマの道」「森の道」と分けて実物大模型や映像で紹介します。



●奄美シアター

奄美シアターでは、「亜熱帯の輝き-奄美の海と森の物語-」
「森と生きる 祈りの島～明日への遺産 奄美・沖縄の自然～」
「奄美群島 島めぐり-亜熱帯の島の魅力を探る-」
という3本の映像を上映しています。奄美の神秘的な自然と、固有の動植物、そして自然と共に暮らす人々の様子や、奄美群島の各島々の魅力を映し出します。

※ 上映時間 毎時15分・45分



●アイランドインフォメーション

奄美の各島々の自然や文化を、見て、触れて、体感しながら学べる展示スペースです。

奄美群島五島をかたどった模型地図では、タッチパネル等を利用して観光名所や郷土料理などを探すことができ、奄美の四季や生態系などを美しい4K映像を通して学べるコーナーもございます。



●遊びの庭

昔懐かしい遊び道具が揃う民家は瀬戸内町の古志集落から移築したもので、民家の横には八月踊りを体験できるコーナーもあります。

その他、奄美に関するクイズゲームコーナーもあり、楽しみながら奄美について学習することができます。



●その他

レストラン、売店、イベント広場、レクチャールーム、多目的トイレ

2 田中一村記念美術館

●田中一村

田中一村は明治41年（1908）に栃木県で生まれた日本画家です。

一村は、昭和33年、50歳のときに新たな自分の表現を求め、単身奄美に移り住みました。

奄美での一村は、絵を描くために紬工場で染色工として働き、切り詰めた生活の中でも、画家としての信念を貫き、亜熱帯の動植物をモチーフに日本画で独自の美の世界を創造しました。



●常設展示室・特別展示室

常設展示室及び特別展示室では、田中一村の「東京時代」「千葉時代」「奄美時代」の代表作を含む約80点（年4回展示替え）の作品群をご鑑賞いただける常設展を常時開催しています。



●その他施設

企画展示室、ガイダンス室、図書資料室、カフェ・ミュージアムショップがございます。

◆学習のポイント◆

「奄美の郷」において、奄美の自然、歴史、文化を映像や展示などで楽しく学ぶことができ、「田中一村記念美術館」では展示作品を通して、日本画の境地を築いた田中一村独特の作品世界や清貧で孤高な生き方を通じた彼の人生について学ぶことができます。また、屋外には、田中一村の作品世界を亜熱帯の植物で再現した「一村の杜」や、管制塔をイメージした展望台、無料の貸出し遊具等で遊べる多目的広場等があり、晴れの日でも、雨の日でも、天気にも左右されずに楽しめる観光施設です。

沖縄県立博物館・美術館



沖縄県立博物館・美術館は、平成 19 年に、那覇市首里にあった旧沖縄県立博物館が那覇市おもろまちに移転し、美術館を併設した沖縄県立博物館・美術館として開館しました。約 10 万件の博物館資料、郷土の芸術家を中心としたアート作品、ワクワクする演出や PC コンテンツなど、五感で楽しむことのできる施設となっています。

以下はコロナ禍前の DATA 及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住所：沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1
- 電話番号：098-941-8200
- ホームページ：<http://okimu.jp>
- 開館時間：9時00分～18時00分（金曜日・土曜日は20時00分まで）
※入館は30分前まで
- 休館日：月曜日（月曜日祝日の場合は開館。翌平日が休館）
- 駐車場：一般158台、大型バス10台
＊ 詳細はお気軽にお問い合わせください。

●博物館常設展

常設展へのアプローチでは、イノー（ラグーン）に広がるサンゴ礁を足元に見ながら、島に上陸するような感覚を体験することができます。また、琉球列島の成り立ちと生物の進化をテーマとした映像とともに、1万8千年前の原始の沖縄に暮らした港川人とその時代の動物相の再現模型を展示しています。「シマの自然とくらし」のコーナーには、鹿児島から台湾までの海域に散在する琉球列島の島々を壮観できる大型ジオラマを配置し、島々の特徴ある自然・歴史・文化を紹介しています。



●美術館コレクション展

コレクション展は、沖縄の作家を中心に収集した約4,600件の収蔵資料からテーマ展示の形式で公開しています。本土と異なる風土と歴史の中から培われた独特な芸術作品を楽しむことができます。



●ふれあい体験室

ふれあい体験室には、「自然のしくみ」や「先人の知恵」をテーマに、じかに手に取って観察し、考えながら学習することができる体験キットが準備されています。サンゴ礁をすみかとする生き物たちの共生や、グスクの石積みの技術、また沖縄の島コトバや民具など常設展示の内容とリンクし、子供達に展示内容について興味をもってもらう糸口となるよう構成されています。



●情報センター

情報センターは、沖縄の自然・歴史・美術・文化等に関する情報、および図書資料等をゆっくり閲覧できるスペースとなっています。また、当館のお問い合わせ窓口となっており、展示室での疑問・質問、収蔵品の検索など専門の学芸員に対する質問や団体見学の受け付けを行っています。また、博物館常設展・美術館コレクション展の音声ガイドの貸し出しも行ってあります。

●その他施設

カフェ、ミュージアムショップ、講座室、講堂（350㎡、212席）、救護室、屋外活動スペース博物館・美術館野外展示など。

Yamaguchi Prefectural Art Museum

山口県立美術館

山口県にゆかりのある作家の日本画・洋画・彫刻を中心に収蔵。
1～2ヶ月ごとの展示替えによるコレクション展でご紹介しています。



郷土ゆかりの作品にふれる、緑豊かな美術館

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、展覧会スケジュールが変更となる場合があります。
最新情報は、当館ホームページ「お知らせ」をご確認ください。

■コレクション展

山口県立美術館の収蔵品を中心に、テーマごとに作品をご紹介する小企画展。

香月泰男の「シベリア・シリーズ」をはじめ、松田正平、小林和作の作品や戦後日本を代表する写真家のオリジナルプリントなどの所蔵作品約4,200点(寄託品を含む)は、1～2か月ごとに展示替えを行うコレクション展にて随時テーマごとにご紹介しています。なかでも、室町時代の雪舟とその後継者である雲谷派の画家や、森寛斎、狩野芳崖などの日本美術は、24畳の展示室で、畳の上に座ってゆっくりご鑑賞いただくことができます。



展示室 A



展示室 B



展示室 C

観覧料

18歳以下および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学する方、学校団体見学における引率の先生方は無料。

※当日の展示内容は、こちらの写真とは異なります。

■特別展

詳しい展覧会スケジュールにつきましては、山口県立美術館ホームページをご覧ください。もしくはお電話で山口県立美術館までお問合せください。

■その他の施設

ロビーから望む野外彫刻の並ぶ中庭《県美の森》は、四季折々の表情をお楽しみいただけます。ミュージアムショップは、チケットをお持ちでない方もご利用いただけるスペースです。

〈美術館でできること〉

修学旅行など学校団体で山口県立美術館をご利用される場合には、学年や人数にあわせた学芸員によるギャラリートーク、鑑賞プログラムを実施いたします。

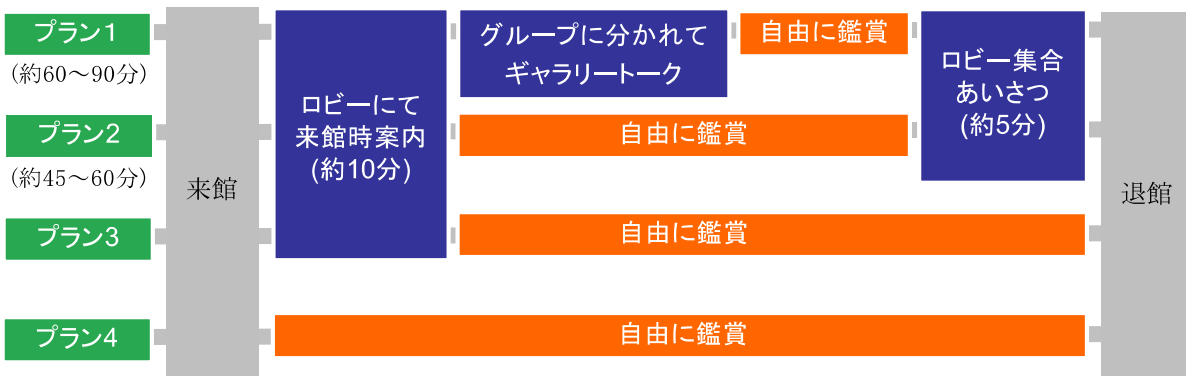
◇来館時案内

展示室に入る前にロビー等で、美術館の概要、鑑賞マナー、展覧会の内容と見どころを学芸員が紹介します。(約5～10分)

◇ギャラリートーク

学芸員が作品解説をしながら、展示室をツアー形式でめぐります。
開催中の展覧会や、子どもの学年に合わせたトークで、より深く、楽しく鑑賞することができます。
人数が多い場合は、数グループに分けて行います。

■見学モデルプラン



学校見学の申し込み方法：

山口県立美術館ホームページをご覧ください。または、お電話にてお問い合わせください。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校団体を含む団体の受け入れをできない場合があります。

所在地 〒753-0089 山口県山口市亀山町3-1
TEL: 083-925-7788 Fax:083-925-7790

ホームページ <https://www.yma-web.jp/>

開館時間 9:00～17:00 (入場は16:00まで)

休館日 月曜日

※月曜日が祝日・休日の場合は開館
※特別展開催中のファーストマンデー(第1月曜)は開館

年末年始、展示替え、館内整備等による臨時休館期間

※詳しくは、ホームページをご覧ください。お電話でお問い合わせください。

アクセス 電車の場合： JR新山口駅から山口線に乗り換え山口駅下車、徒歩約15分

お車の場合：[山陽自動車道] 防府東ICから車で約25分

[中国自動車道(広島方面から)] 山口ICから車で約15分

[中国自動車道(九州方面から)] 小郡ICから車で約25分

18歳以下のおよび
学校団体の引率は
無料

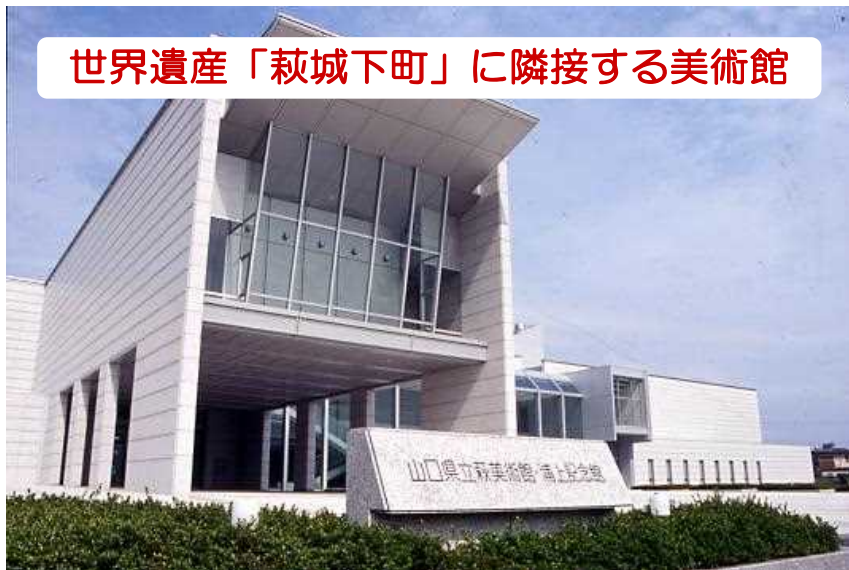


Hagi Uragami Museum

山口県立萩美術館・浦上記念館

浮世絵、東洋陶磁、陶芸の3つの分野を専門とする美術館です。

“浮世絵“や萩焼をはじめとする”やきもの”の作品を展示しています。



世界遺産「萩城下町」に隣接する美術館

■普通展示（山口県立萩美術館・浦上記念館の収蔵品展示）

普通展示では収蔵品を定期的に入れ替えながらテーマ展示しています。山口県立萩美術館・浦上記念館は1996年に開館。2010年には陶芸の振興を目的に陶芸館を増築。

歌川広重、葛飾北斎らの浮世絵、中国・朝鮮・日本などの東洋陶磁、400年の歴史を有する萩焼をはじめとする近現代の陶芸作品を収蔵しています。

外国人観光客向け旅行ガイド「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」では、2つ星の観光施設として紹介されています。

※掲載の作品は常設展示ではありません。
展示内容については、美術館までお問い合わせください。



浮世絵



東洋陶磁



陶芸

■特別展示

展覧会スケジュールおよび内容については、山口県立萩美術館・浦上記念館ホームページをご覧ください。お電話(0838-24-2400)またはFAX(0838-24-2401)にて美術館までお問合せください。

■観覧料

18歳以下、高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学する方、学校団体引率の先生方は無料。

■その他の施設

カフェ、ミュージアムショップ、レファレンスコーナー、多目的トイレ、車いす兼用エレベーター

山口県立萩美術館・浦上記念館は、萩城下町に隣接しています。

平成27年7月には、萩市にある萩反射炉・恵美須ヶ鼻造船所跡・大板山たたら製鉄遺跡・萩城下町・松下村塾の5つの資産が「明治日本の産業革命遺産」として世界遺産登録されました。

美術館を拠点として、萩反射炉・恵美須ヶ鼻造船所跡・萩城下町・松下村塾の4つの資産を自転車で観光することが可能です。

山口県立萩美術館・浦上記念館の収蔵品について

◆浮世絵

世界に3点しかない葛飾北斎の美人大首絵「風流無くてなぐくせ 遠眼鏡」や歌川広重の「東海道五十三次之内」をはじめ、江戸時代から明治時代にかけて活躍した代表的な浮世絵師の名品を有しています。約1ヶ月ごとに、歴史や風俗、シリーズなどのテーマを変えながら作品を入れ替えています。

◆東洋陶磁

当館の東洋陶磁は前近代における中国・朝鮮・日本の陶磁器が中心で、中国陶磁は新石器時代から明時代まで、朝鮮陶磁は高麗時代と朝鮮時代、日本陶磁は萩焼を核に江戸時代のものでそれぞれ構成されています。今日も多くの人々を魅了する古陶磁をテーマに沿って展示しています。

◆陶芸

萩焼400年の伝統技法を受け継ぎながら、つねに革新性を追及してきた山口県の陶芸作品を展示しています。茶碗を中心とした江戸時代の萩藩御用窯の精品から、山口県ゆかりの近現代陶芸家の作品、また赤間硯や金工の作品等、工芸分野の作品も企画性を持たせながらご紹介しています。

◇来館時案内 (要事前予約)

来館時に美術館の概要や鑑賞マナーを職員が紹介します。(約5～10分)

◇学校見学の申込方法

お電話(0838-24-2400)にてお問い合わせください。
展示内容、駐車場や来館時のご案内など承ります。

所在地 〒758-0074 山口県萩市平安古町586-1
TEL: 0838-24-2400 Fax: 0838-24-2401

ホームページ <https://www.hum.pref.yamaguchi.lg.jp/>

開館時間 9:00～17:00 (入場は16:30まで)

休館日 月曜日(月曜日が祝日・休日の場合は開館)
年末年始、展示替え等による臨時休館期間
※詳細は美術館までお問い合わせください。

アクセス [新山口駅から]
・直行バス「スーパーはぎ号」(約60分)で萩・明倫センター下車、徒歩約5分
・防長バス(約70～80分)で萩バスセンター下車、徒歩約12分
[山口宇部空港から]・[萩・石見空港から]
・萩近鉄タクシー(乗合タクシー)約70分(利用前日までの要予約)
[JR山陰本線]
・JR萩駅から萩循環まあるバス(西回り)約30分
・JR東萩駅から萩循環まあるバス(東回り)約30分
・JR玉江駅から徒歩約20分
[自動車]
・「中国自動車道」美祢東JCT経由、「小郡萩道路」絵堂ICから約20分
・「山陰自動車道」三見ICから約10分、国道191号沿い

18歳以下および
学校団体の引率の先生は
無料

秋吉台国際芸術村



日本最大級のカルスト台地「秋吉台」は、三億年前に海の中で生まれたサンゴ礁が長い年月をかけて形を変えた石灰岩でできており、特別天然記念物、国定公園に指定されています。2015年には日本ジオパークに認定されました。

その秋吉台のふもとに、音楽、美術、ダンス、演劇など幅広い芸術文化の創作・発表・交流の場として1998年に秋吉台国際芸術村は開館しました。

国内では珍しい「宿泊施設のある文化施設」として、合宿や研修など滞在型の催物に活用されています。

また、世界的な建築家の磯崎新が設計しており、建築物としても見どころのある施設です。

萩・長門、山口、下関などの観光地に1時間以内でアクセスできる好立地。観光の拠点としてもご利用いただけます。

以下はコロナ禍前のDATA及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住 所：山口県美祢市秋芳町秋吉 50
- T E L：0837-63-0020
- ホームページ：<https://aiav.jp>
- 施設見学時間：午前9時～午後5時
- 入館料：無料
- 休館日：年末年始
- 駐車場：250台（臨時駐車場を含む）、
大型バス3台 無料
- レストラン：最大100席、食事のみの利用も可能
- 交通：小郡萩道路秋吉台I.C.から車で5分



●コンサートホール 約 300 席

秋芳洞を模してデザインされたホール空間は響きがよく、
声楽や弦楽器の演奏に適しています。
地元産の石材を使用して作られたロビーでは、探せば化石
が見つかります。



●研修室 3 室

二階吹き抜けの広い空間は、制作意欲を掻き立ててくれ
ます。うち 1 室は舞踊などに利用できるよう、鏡と弾性
床仕様。

●スタジオ 7 室

●ギャラリー

●宿泊室 36 室

和室 28 室、洋室 8 室、最大 100 名まで宿泊可能。豊かな自然の中の簡素なしつらえ
は、日常の煩わしさから解き放ってくれます。

●近隣観光地

〈秋芳洞〉 車で 5 分

- ・日本屈指の大鍾乳洞「秋芳洞（あきよしどう）」のなりたち
や生物など、自然や歴史について学習できます。

ジオガイドによる案内も ※要事前予約

- ・洞内観光コース約 1 k m
- ・入洞料+ジオツアー代



〈秋吉台〉 車で 10 分

- ・ウォーキング、ロゲイニング等の利用も可能です。
- ・ウォーキングについては、初心者から中級者まで、数種類
のコースがあります。（所要時間 60~120 分）
- ・ロゲイニングでは、自然の大切さだけでなく、考える力、
チームワークなど、教育的集団行動を学ぶこともできま
す。（所要時間 180 分）



〈長登銅山跡・文化交流館〉 車で 10 分

- ・奈良時代から昭和 35 年まで採掘されていた、日本最古の銅山跡です。
東大寺の大仏鑄造の銅も産出していたといわれています。
- ・交流館団体入館料（団体 20 名以上）：大人 250 円、小中学生 100 円
- ・銅山跡探検（片道約 1 k m、標高差 100m、徒歩往復 90 分）無料
- ・近世・近代鉱山跡見学（1 周 800m、30 分）無料

〈美祿市化石館・美祿市化石採集場（美祿市歴史民俗資料館）〉 車で 20 分

- ・山口県は日本有数の化石の産地。その中でも特に、美祿市を中心とした一帯に集中

しています。2億3000年前の地層で、採集体験ができます。

- 所要時間 60分～、体験料無料

<秋吉台サファリランド> 車で20分

- 放し飼いの動物を間近に観察できるエサやりバス、ふれあい広場でのエサやり体験などが人気。

<別府弁天池（名水百選）> 車で15分

※料金・実施時期・受入人数等、詳細については美祢市観光協会
（TEL：0837-62-0115）にお問い合わせください。

山口県立山口博物館



子どもは
無料だよ！



マスコットキャラクター
「なっとくん」

やまぐちで学ぶ、やまぐちを学ぶ



1912(明治45)年に防長教育博物館として開館して以来、総合博物館として理工・地学・植物・動物・考古・歴史・天文の各分野の約36万点の資料を収蔵しています。



屋内には、ロボット、恐竜の骨格標本、体験型機器など、屋外には、SL機関車などを展示。「常設展」の他、夏季には大規模な「特別展」、秋には「サイエンスやまぐち」、そして年数回「テーマ展」などを開催しています。



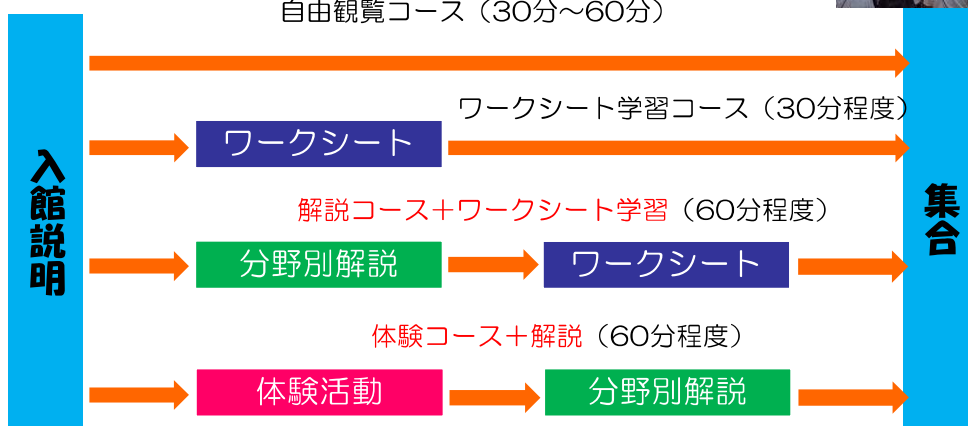
展示内容や体験的な機器の使用などは、変更になる場合があります。

◇見学コース◇

修学旅行のスケジュールに合わせていろいろな見学方法が可能です。ご希望のコース内容を選択することができます。



■コース例



自由観覧

- ・入館説明時と退館前に集合を行います。
- ・館内では自由に観覧できます。
- ・観覧時間は30分から60分程度で自由に設定できます。

ワークシート

- ・学年に応じたワークシートで学習します。
- ・見学用のボードは1人1枚お貸しすることもできます。
- ・筆記用具を持参してください。 ・実施時間は30分程度です。

分野別解説

- ・7分野の希望する分野に関して、展示資料等を解説します。
- ・解説時間は、1分野15分～20分以内です。
- ・学校での授業に対応するなど、内容は相談に応じます。

体験活動

- ・短時間の体験活動として「葉脈標本づくり」「化石レプリカづくり」等を用意しています。
- ・体験時間は20分～30分です。

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行っています。必ず事前にホームページで最新の情報を確認の上、電話でご相談ください。

●住所：山口県山口市春日町8-2

●電話番号：083-922-0294

●開館時間：9時00分～16時30分
(入館は16時00分まで)

●休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、
年末年始、全館消毒時等

●駐車場：近隣文化施設用バス15台（無料）

●交通車：山口ICから車で約15分、小郡ICから約20分
JR：JR「新山口駅」から山口線に乗り換え、
「山口駅」下車。徒歩約20分（約1.5km）

